資料１

魚津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（抜粋）

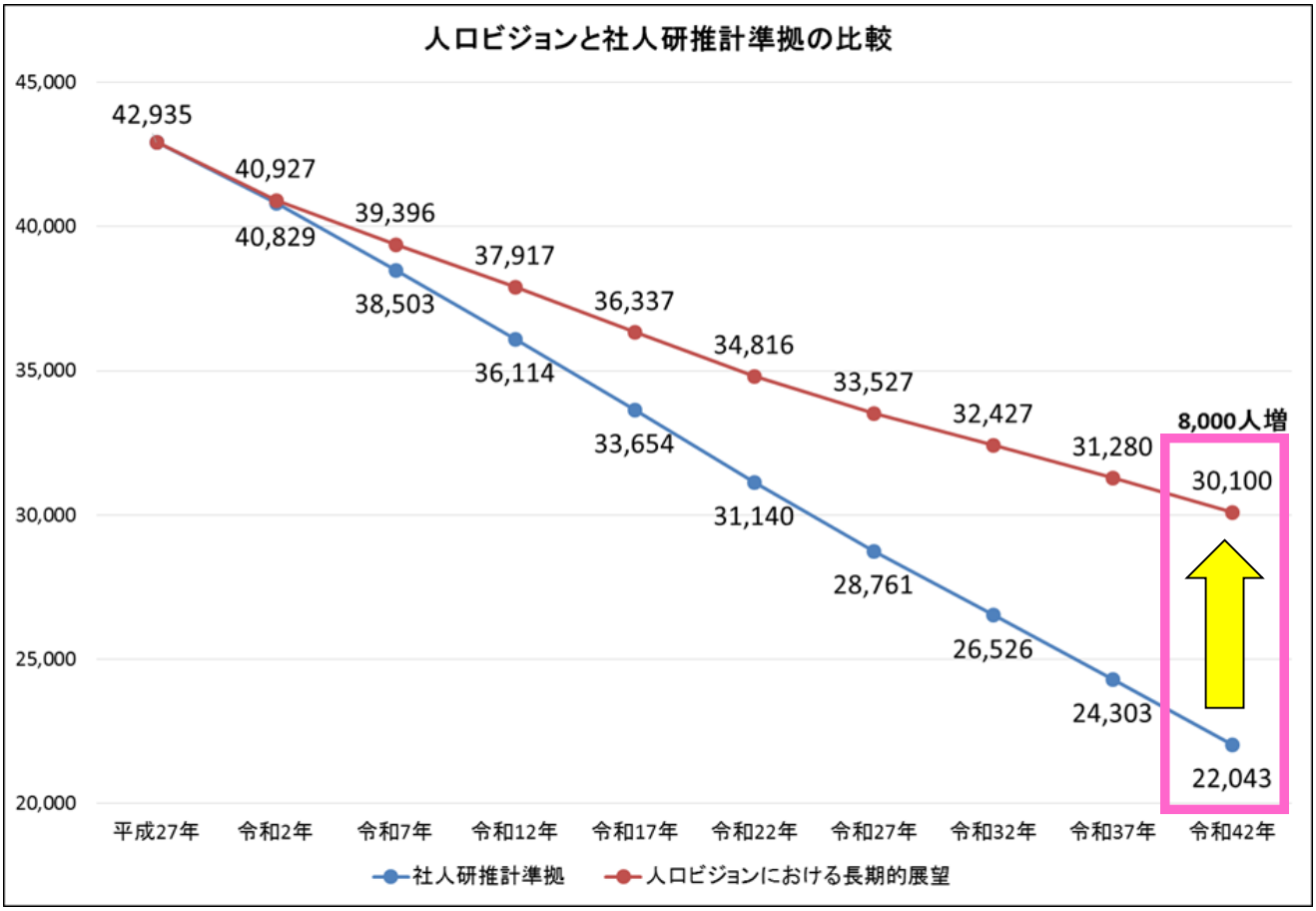
❶魚津市人口ビジョンにおける長期的展望

◎令和42年（2060年）に人口規模３万人を維持します
◎人口構造の若返りを目指します

❷長期的展望達成のための目標

- **合計特殊出生率の段階的な上昇を目指します**
  ①　令和12年（2030年）に1.9程度を達成
  ②　令和22年（2040年）に2.07程度を達成
  ③　令和22年（2040年）以降は2.07程度を維持
- **若者の地元定着を図るとともに、Ｕ・Ｉターンを促進します**
  ①　令和２年～令和７年（2020年～2025年）の５年間の社会減０を達成
  ②　令和７年（2025年）以降は毎年20人の社会増を達成

上記の目標を達成することにより、合計特殊出生率と若い世代の純移動率が改善され、2060（令和42）年の推計人口は、社人研推計準拠と比較して、約8,000人の増加が見込まれる。



（１）　魚津市の人口動態状況について

○人口動態における人口について
国勢調査の人口を基準として毎月の自然動態、社会動態の増減により算出している。
R1.10.1まではH27国勢調査確報値、 R2.10.1以降はR2国勢調査確報値を採用している。
これとは別に市の住民基本台帳登録者数を基に算出した住民基本台帳人口がある。

①　人口ビジョン目標人口との実績との比較

目標人口との差が大きくなってきている。

資料：とやま統計ワールド

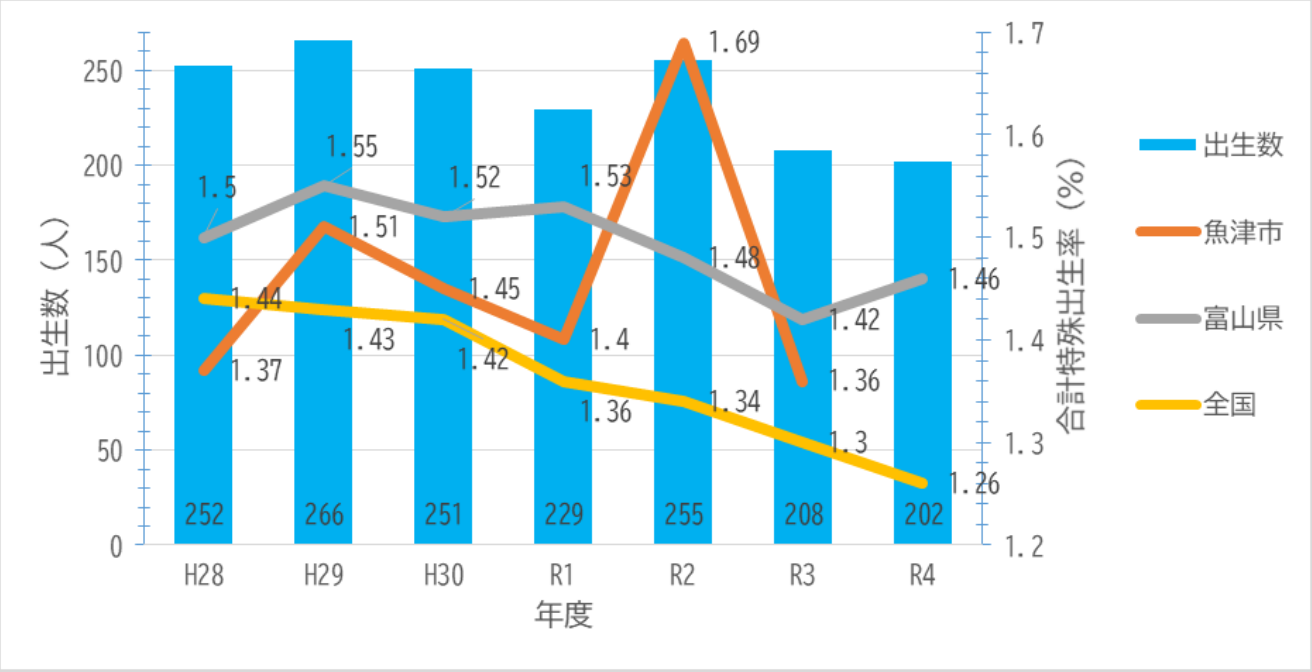
（単位：人）

	令和元年（10.1時点）	令和２年（10.1時点）	令和３年（10.1時点）	令和４年（10.1時点）	令和５年（10.1時点）（市民課速報値）
目標人口	41,327	40,927	40,621	40,315	40,009
実　　績	41,526	40,535	39,896	39,270	38,580
差	199	△392	△725	△1,045	△1,429

②　合計特殊出生率（※）の推移

合計特殊出生率は、年度により増減があるものの、全体として年々減少している。
（※）｛母の年齢別出生数÷年齢別女子人口｝
（15歳～49歳までの合計）

資料：魚津市健康センター作成
出生数は年間数
R4合計特殊出生率は、R6.1月頃確定



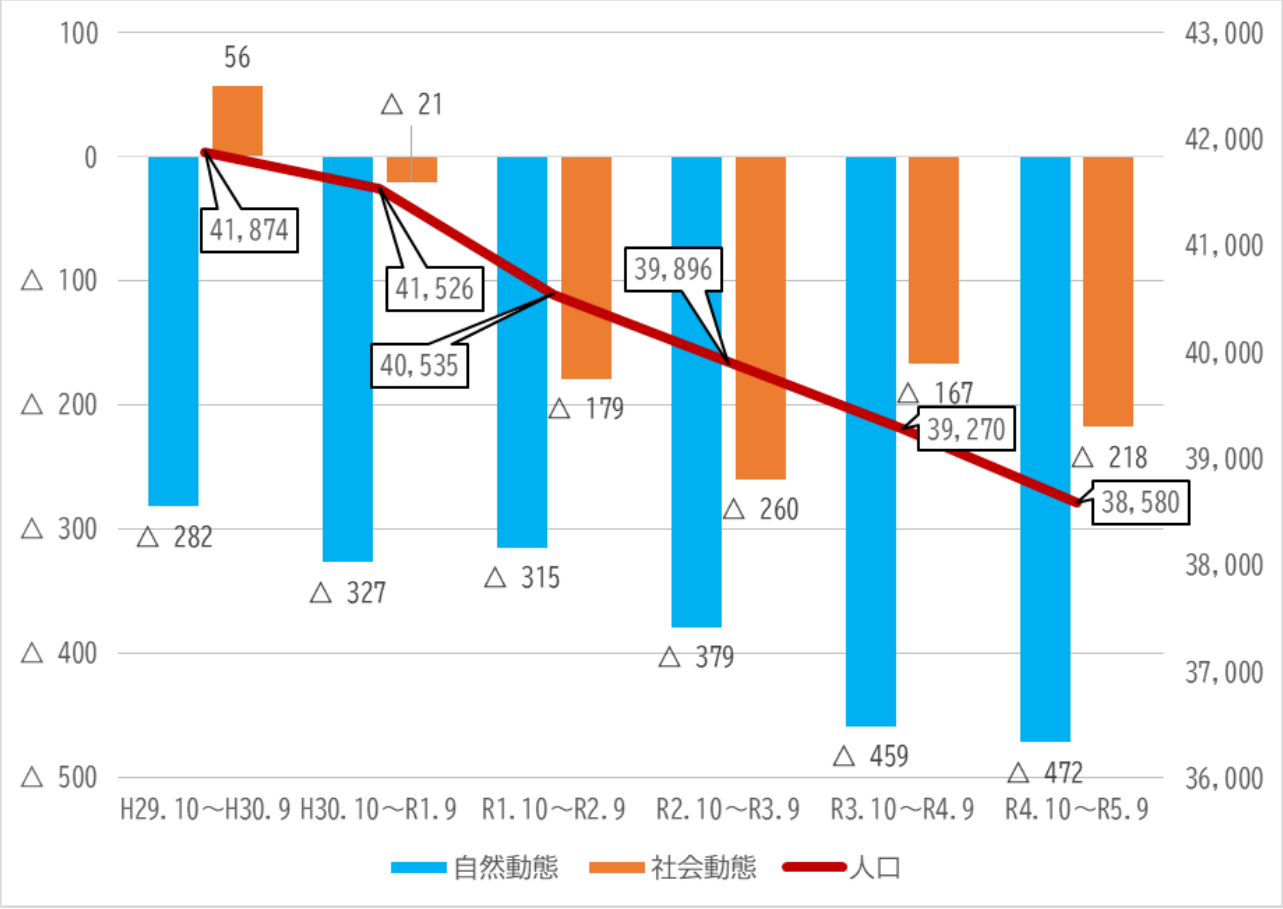
③　近年の魚津市の人口動態

自然動態、社会動態ともに減少し続けている。

資料：とやま統計ワールド

（単位：人）

期間	自然動態	社会動態	計	人口
H29.10～H30.9	△282 （出生264　死亡546）	56 （転入1,216　転出1,160）	△226	41,874 H30.10.1現在
H30.10～R1.9	△327 （出生227　死亡554）	△21 （転入1,257　転出1,278）	△348	41,526 R1.10.1現在
R1.10～R2.9	△315 （出生250　死亡565）	△179 （転入1,112　転出1,291）	△494	40,535 R2.10.1現在
R2.10～R3.9	△379 （出生226　死亡605）	△260 （転入1,008　転出1,268）	△639	39,896 R3.10.1現在
R3.10～R4.9	△459 （出生214　死亡673）	△167 （転入1,156　転出1,323）	△626	39,270 R4.10.1現在
R4.10～R5.9 （市民課速報値）	△472 （出生192　死亡664）	△218 （転入1,136　転出1,354）	△690	38,580 R5.10.1現在



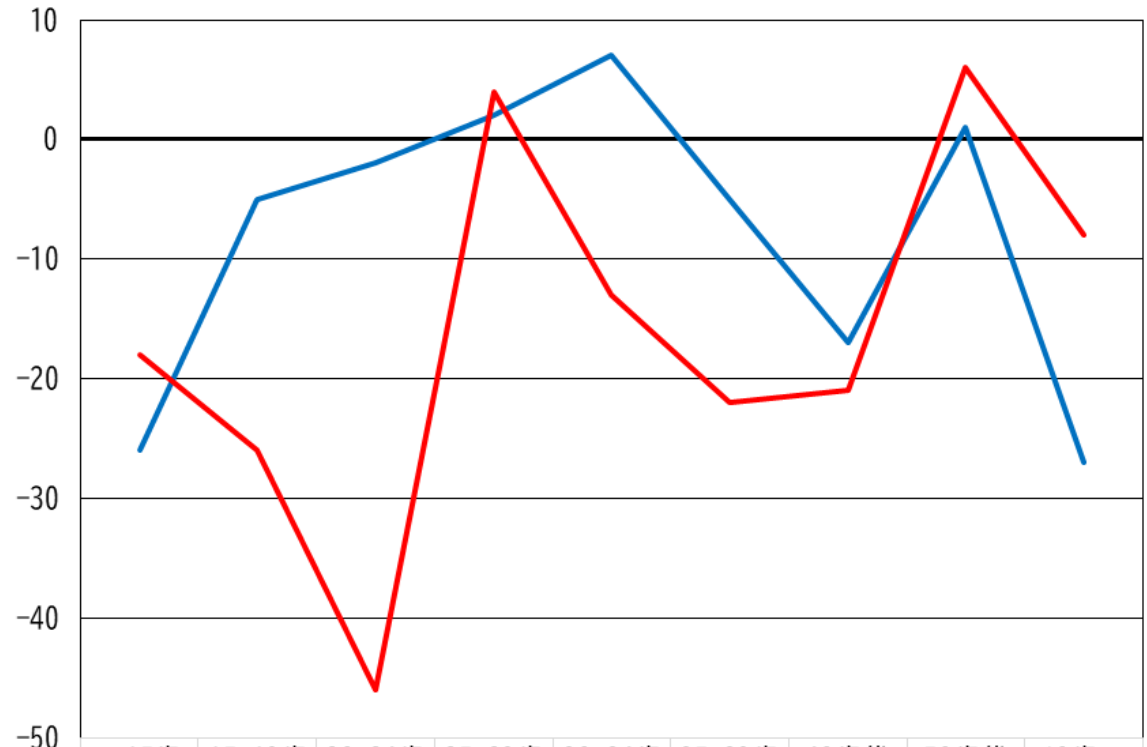
④　最近の年齢・男女別社会動態の傾向について

近年は、年度による増減があるものの、20代では男性は転入が多いが女性は転出超過、10代と30代では男女ともに転出超過という状況が続いている。

資料：市民課住基台帳速報値

（単位：人）

R4.10～R5.9の年代・男女別社会動態（転入ー転出）



	～15歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40歳代	50歳代	60歳～
男	-26	-5	-2	2	7	-5	-17	1	-27
女	-18	-26	-46	4	-13	-22	-21	6	-8

⑤　転出入の状況（令和４年10月１日～）

県内では富山市、黒部市間の移動が多い。10名以上の転出超過は富山市、高岡市、滑川市及び砺波市、 10名以上の転入超過は黒部市、入善町及び朝日町となっている。

県外への転出入は、転出超過となっており、関東（特に東京都）間の移動が多い。

【以下、転出入者アンケート結果等による考察】

転出超過が一番多い富山市への転出の理由は、仕事によるものが圧倒的に多い。

滑川市への転出の主な理由は、住宅購入及び結婚によるもので、富山市との距離や地価が影響していると考えられる。

黒部市からの転入者は、仕事や結婚を機に一時的に魚津市内で賃貸住宅に居住するものの、その後、仕事や住宅購入を理由に地元等に転出する傾向が見られる。

資料：市民課住基台帳速報値　（単位：人）

1．魚津市への転入状況

月	転入計	前住所地															
		県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	105	55	50	13	2	5	12	2	0	0	2	3	0	3	1	3	4
11月	82	35	47	19	3	2	13	1	0	1	1	0	0	1	0	6	0
12月	82	35	47	14	0	13	15	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0
1月	65	37	28	12	1	4	8	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1
2月	74	25	49	5	3	7	17	1	1	2	1	0	1	4	1	4	2
3月	187	103	84	21	3	7	27	10	0	1	0	0	0	6	3	3	3
4月	125	65	60	24	5	6	16	0	1	4	0	0	0	0	0	1	3
5月	102	48	54	14	1	5	12	1	0	4	0	0	0	2	1	6	8
6月	75	31	44	12	6	8	11	2	0	0	0	0	0	2	0	2	1
7月	74	40	34	8	1	2	9	2	0	0	0	0	0	0	1	9	2
8月	80	46	34	8	2	5	9	0	0	1	0	0	0	0	3	1	5
9月	85	43	42	15	2	3	8	1	0	0	0	0	0	0	0	12	1
計	1,136	563	573	165	29	67	157	20	3	13	4	3	1	22	10	49	30

2．魚津市からの転出状況

月	転出計	新住所地															
		県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
10月	105	38	67	20	4	9	17	2	2	2	0	1	3	1	1	3	2
11月	84	38	46	16	2	8	9	1	0	0	0	0	1	0	6	1	2
12月	88	47	41	17	1	6	12	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0
1月	84	38	46	13	6	12	7	2	1	0	0	0	0	1	0	2	2
2月	78	28	50	17	6	9	7	1	0	7	0	0	0	0	0	2	1
3月	290	195	95	46	10	12	17	0	0	1	4	0	0	2	1	2	0
4月	144	74	70	25	6	13	14	2	1	1	1	0	0	4	2	0	1
5月	94	54	40	17	0	4	8	6	0	4	1	0	0	0	0	0	0
6月	85	41	44	15	3	18	5	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0
7月	101	52	49	20	2	5	11	0	0	0	0	1	1	0	1	7	1
8月	96	47	49	20	2	10	6	1	0	3	0	0	0	4	1	2	0
9月	103	54	49	20	3	6	6	0	0	4	4	0	0	3	0	3	0
計	1,352	706	646	246	45	112	119	15	4	23	10	2	5	15	17	24	9

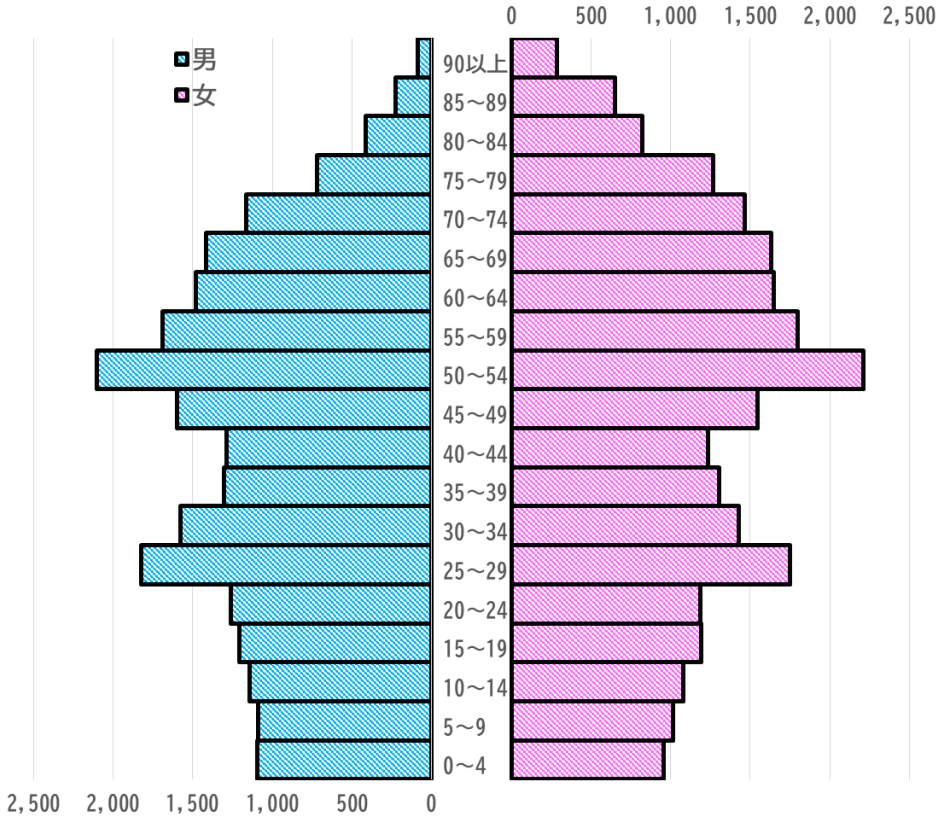
	合計	県外計	県内計	富山	高岡	滑川	黒部	射水	氷見	砺波	南砺	小矢部	舟橋	上市	立山	入善	朝日
	△ 216	△ 143	△ 73	△ 81	△ 16	△ 45	38	5	△ 1	△ 10	△ 6	1	△ 4	7	△ 7	25	21

⑥　人口ピラミッド

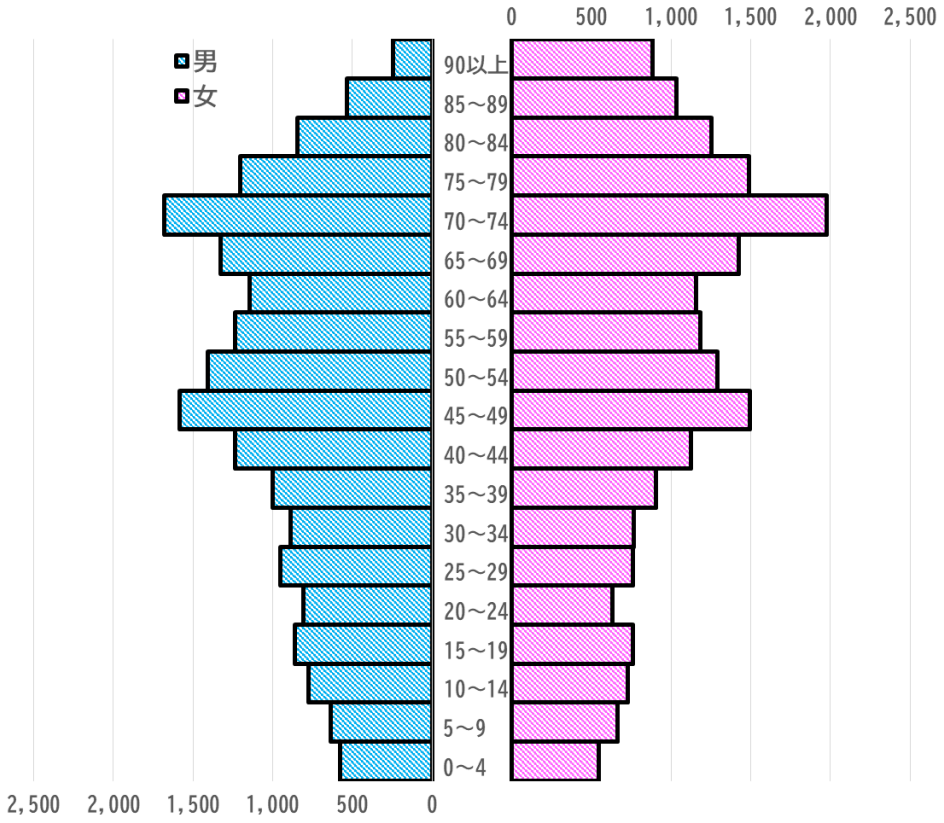
平成12年（20年前）と比較すると人口構造の高齢化が進んでいる。

資料：国勢調査

平成12年　人口ピラミッド



令和２年　人口ピラミッド

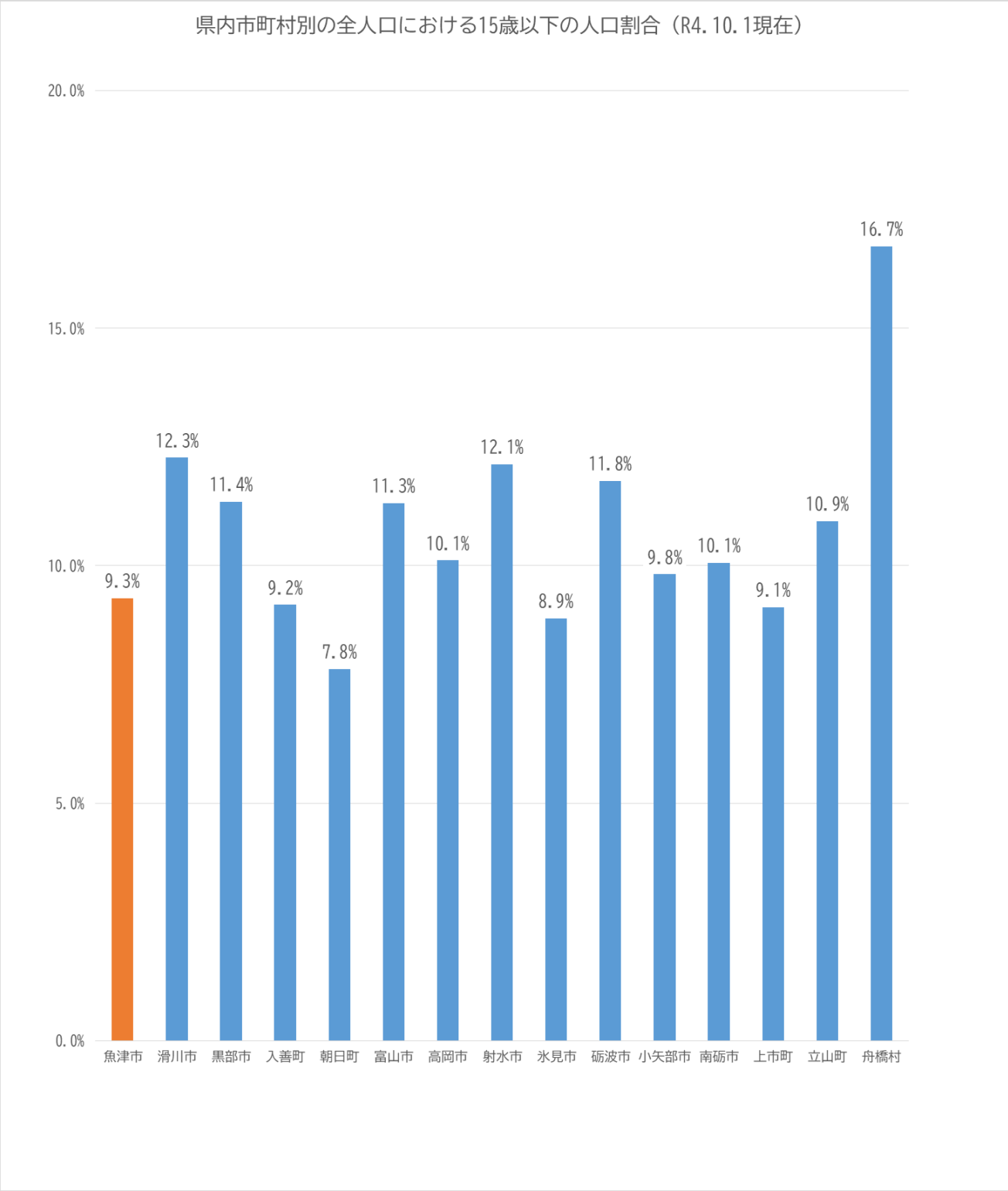


⑦　県内市町村別の全人口と15歳以下の人口

市全体の人口の15歳以下が占める割合は9.31%となっており、県内市町村ごとの割合と比較すると低い傾向にある。

資料：とやま統計ワールド

	魚津市	滑川市	黒部市	入善町	朝日町	富山市	高岡市	射水市	氷見市	砺波市	小矢部市	南砺市	上市町	立山町	舟橋村
15歳未満人口	3,657	3,947	4,426	2,102	824	46,297	16,528	10,906	3,751	5,592	2,763	4,654	1,703	2,646	534
全人口	39,270	32,159	38,990	22,904	10,525	409,097	163,449	89,897	42,167	47,443	28,138	46,239	18,658	24,194	3,193
割合	9.3%	12.3%	11.4%	9.2%	7.8%	11.3%	10.1%	12.1%	8.9%	11.8%	9.8%	10.1%	9.1%	10.9%	16.7%



資料２

（２）　第２期魚津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実施状況

①　総合戦略の基本目標ごとの数値目標、ＫＰＩ達成状況（令和４年度時点）

基本目標		数値目標達成状況（達成数／項目数）		KPI達成状況（達成数／項目数）	
		R3	R4	R3	R4
1	魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性が、魚津を働く場に選択されるまちにします	１／３	０／３	２／６	０／６
2	にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります	０／３	０／３	４／９	４／９
3	安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します	１／２	１／２	０／３	０／３
4	活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します	２／２	２／２	３／５	３／５
計		４／１０（40.0%）	３／１０（30.0%）	９／２３（39.1%）	７／２３（30.4%）

※達成基準について
　令和７年度目標値から基準値を引いた値を５ヶ年分で割って段階的に到達しているかどうかを判定しているものと、５ヶ年とも同じ目標値を設定しているものがある。

②　基本目標ごとの数値目標及びKPIの実績、主な事業内容について

※ピンク色のセルは目標達成

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性が、魚津を働く場に選択されるまちにします

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
魚津市ふるさと寄附の件数	4,321件（R元）	14,000	20,000	24,000	28,000	32,000
		11,684	11,936			
新規創業者数	11件（R元）	25	25	25	25	25
		8	21			
年齢階級別純移動数（15～19歳と25～29歳の比較）	▲36人（H27）単位(人)	－	－	－	－	▲ 20
		Ｒ７年度国勢調査の結果に基づき評価を実施				

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
製造業の生産額	1,372 億円（H30）	1,375	1,376	1,377	1,379	1,380
		968	Ｒ５年度公表予定			
年間商品販売額	880 億円（H28）	900	900	900	900	900
		743	Ｒ８年度経済センサスの結果に基づき評価を実施			
市産材生産量	4,626 ㎥（R元）	4,626	4,858	5,101	5,356	5,623
		4,806	2,336			
水産物取扱量	3,020 トン（R元）	3,050	3,100	3,150	3,200	3,250
		2,778	2,828			
IoT プラットフォームアクセス数	令和 4 年度（新規事業）単位（件）	－	2,500	5,000	10,000	10,000
		－	825			
電子地域通貨年間発行額	－単位（百万円）	200	450	700	950	1,200
		247	302			

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
観光入込客数	1,536 千人（R元）	1,557	1,536	1,567	1,598	1,630
		923	1,144			
延べ宿泊者数	310 千人（R元）	395	295	301	307	314
		190	216			
人口動態における社会動態（10月～９月）	▲179 人（R元）	▲ 145	▲ 110	▲ 75	▲ 40	±0
		▲ 167	▲ 218			

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
県外からの移住者数	29人（R元）	30	35	40	45	50
		41	36			
外国人延べ宿泊者数	13,503人（R元）	22,000	5,000	13,500	14,000	14,500
		1,113	739			
新川地域宿泊者数	704千人（R元）	845	702	712	722	733
		395	529			
観光消費額	73.0億円（R元）	74.2	73.0	77.0	81.0	85.0
		43.5	55.5			
観光満足度	63.7%（R元）	64.5	64.8	65.2	65.6	68.0
		71.4	85.7			
居住誘導区域内の居住人口密度	34人／ha（H27）	34	34	34	34	34
		34	34			
経田漁港のボート上下架回数	660回／年（R元）	688	716	744	772	800
		751	838			
スポーツイベントの参加者数	7,562人（R元）	7,610	7,658	7,706	7,754	7,800
		コロナにより中止	3,473			
魚津市の出生数（４月～３月）	238名（R元）	239	241	242	243	245
		216	202			

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
合計特殊出生率	1.40（R元年）	1.40	1.50	1.60	1.70	1.80
		1.36	R6算出			
ICT 機器の活用率	小学校55.2%（R元）	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0
		86.8	93.5			
	中学校79.2%（R元）	97.0	92.0	93.0	94.0	95.0
		98.6	100.0			

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
子育て世代包括支援センター相談件数	2,314件（R元）	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
		1,724	1,202			
子育て支援センターの延べ利用者数	10,906人（R元）	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
		7,453	7,958			
子育て短期支援事業（ショートステイ事業）利用者数	令和４年度（新規事業）単位（人）	1	1	1	1	1
		－	0			

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します

数値目標

目標	基準値（　）は年度	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
市管理施設のＣＯ2 排出量	8,183t-CO_2（R元）	8,020	7,940	7,861	7,782	7,740
		7,084	6,988			
公共施設面積	187,139 ㎡（R元）	185,597	185,182	184,966	184,966	168,144
		184,973	182,311			

重要業績評価指標（ＫＰＩ）

目標	基準値	目標値（上段）及び実績値（下段）				
		R3	R4	R5	R6	R7
市民１人１日あたりのごみ排出量	847.8ｇ（R元）	831.0	823.0	814.0	806.0	798.0
		827.0	817.6			
資源化率	18.8%（R元）	19.0	19.1	19.2	19.3	19.4
		18.8	19.2			
文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	1,289人（R元）	900	1,290	1,310	1,330	1,350
		901	926			
成年後見制度利用者数	56件（R2.11月）	58	60	62	64	65
		71	80			
健康寿命	男性 79.33歳（H29）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加				
		R6.2頃	R7.2頃			
	女性 84.63歳（H29）	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加				
		R6.2頃	R7.2頃			

【基本目標１】魅力あるしごとをつくりそだて、若者・女性が、魚津を働く場に選択されるまちにします

令和４年度における主な事業

事業名	ふるさと寄附推進事業	事業費	485,136千円

【事業概要】
　ふるさと寄附を通じて本市の魅力ある地域産品を全国に伝え、魚津ファンの獲得を図るとともに、地場産業の振興を図る。
　企業版ふるさと納税制度を活用し、本市が実施する地域経済の活性化、地方創生事業について官民連携を図る。

【主な取組及び成果】
　受付WEBサイト数を８サイトから14サイトに、返礼品数を579品から690品に増やすなど、寄付者の利便性向上、ニーズに合わせた商品の開発、地域産業の活性化等に努めた。
　寄附金額は478,938千円（約54,410千円増）、寄附件数は11,936件（252件増）で、過去最高の実績となった。

【今後の取組】
　今後も、寄附者の利便性向上、新たな地域産品の掘り起こし、ニーズに合わせた商品の開発等に努め、寄附金額の増加や魚津市の魅力発信につなげていく。

事業名	デジタル人材活用事業	事業費	6,095千円

【事業概要】
　民間企業の知見を活用し、DX推進に資するICTやデジタル技術の活用促進に関する業務に従事してもらい、地域の活性化を図る。併せてデジタルデバイド対策を実施する。

【主な取組及び成果】
　令和４年度からデジタル人材の育成として、ICTに関する連携協定締結企業からICT・デジタル推進アドバイザーの派遣を受け、市の各種施策に助言を頂くとともに、DX研修を実施し職員の能力向上を図った。

【今後の取組】
　引き続きICT・デジタル推進アドバイザーの派遣を受け入れ、ICTやデジタル技術の活用を促進し、地域の課題解決・活性化を図る。

事業名	スマート農業推進事業	事業費	332千円

【事業概要】
　農業従事者の高齢化、担い手不足を解消するため、デジタル技術を活用した農作業の負担軽減を目指す。

【主な取組及び成果】
　市内農業者（認定農業者、認定新規就農者、人・農地プランに掲載されている中心経営体のいづれか）を対象に、２組の農業経営体に対して、魚津市スマート農業推進事業費補助金を交付した。
　本事業を通じて、農作業等に使用するドローンの技能認定の取得を推進し、農業用ドローン等の活用を促すことで、農業の省力化・効率化を図り、農地の利用集積や経営規模の拡大等を推進した。

【今後の取組】
　農業者の減少が続く中、市内農業者へ農業の省力化・効率化を図るため農業用ドローン等の活用を推進し、その技能認定の取得費用の一部を助成する制度について周知を行いながら、スマート農業の推進を図る。

事業名	６次産業化推進事業	事業費	805千円

【事業概要】
　地域の特産物を生産者だけでなく商工業者などが地域ぐるみで連携を図り、魅力ある商品やサービスの開発を行うことにより、農林水産物の価値を高め、６次産業化や地産地消を推進する。

【主な取組及び成果】
　市内農業者（３個人）が取り組む加工品（ブランド米、ドライりんご、ドライ野菜等）の開発にかかる設備や資材（乾燥機、パッケージ等）の購入及び販売促進活動に対して、魚津市６次産業化推進事業補助金を交付した。これにより、６次産業化の取り組みが促進され、魚津市産の農産物がたくさんの市民に提供され、地産地消が推進された。

【今後の取組】
　６次産業化やブランド化に取り組む農林漁業者等の施設整備や商品開発に対して、引き続き支援を行う。また、６次産業化を発展させ、農林漁業者以外の事業者の参画により新事業や付加価値を創出する「農山漁村発イノベーション」に取り組み、地域の特産物を活用した地域振興を図る。

事業名	森林経営管理事業	事業費	16,200千円

【事業概要】
　地元産木材を利用し、公共施設の木質化を推進するとともに、木材産業及び地域の活性化を図る。

【主な取組及び成果】
　令和４年度は、繰越事業として平沢日干尾地内約15haの民有林の間伐等の森林整備を行い、平沢大松倉地内で約5haの意向調査を行った。

【今後の取組】
　令和５年度に平沢大松倉地内の集積計画の作成、経営管理権の設定並びに森林整備を行う。
　森林環境譲与税を財源として、荒廃している民有林の森林整備を推進していくことで、土砂災害防止や二酸化炭素の吸収等、森林が担う公益的かつ多面的機能の発展を図る。

事業名	漁業振興・栽培増殖振興対策事業	事業費	41,993千円

【事業概要】
　魚介類の安定供給や漁業所得の向上を図るため、養殖事業の展開や種苗放流による資源増殖の取組みを推進する。

【主な取組及び成果】
　魚介類などの水産資源の確保、増大を図り生産性を高めることを目的に、ヒラメ、クロダイ、クルマエビの種苗を放流した。（R４放流量　ヒラメ：9,500尾、クロダイ：5,300尾、クルマエビ：40,000尾）
　魚津漁協が漁業活性化計画に基づいて実施している「漁業の６次産業化」「安全性と品質確保」「地産地消の推進」「地域資源の商品化」「情報発信」等の活動に対して支援した。

【今後の取組】
　水産資源の保全と確保を図るため、種苗の放流を引き続き行う。
　厳しい経営環境にある漁業経営者に対して、漁業者の漁船保険や漁獲共済の掛け金等に対する助成など経営安定のための支援を引き続き行う。
　水産業の活性化のため、新規担い手の育成、確保が求められていることから、漁業後継者の育成を推進する。

事業名	創業者支援事業	事業費	6,582千円

【事業概要】
市内における新規創業に必要な初期費用を支援する。
（改装助成金、奨励金、貸店舗賃助成金：40歳未満、女性加算あり）

【主な取組及び成果】
新規開業する方へ低利での資金調達や魚津市創業支援事業計画に基づく開業に対する指導や助成を行うことで、２1件（技術サービス業４件、飲食業10件、理美容業１件、その他６件）の創業につながった。

【今後の取組】
「魚津市創業支援事業計画」の枠組みを活用しながら起業を支援していくとともに、創業支援事業者が情報共有や意見交換等を行えるよう「魚津市創業支援事業者連絡会議」を開催し、市全体としての支援環境の充実やPRを推進する。併せて女性や若者が起業しやすいよう制度を整えるとともに、事業承継についても推進する。

事業名	新分野産業育成事業	事業費	3,000千円

【事業概要】
つくるUOZU実行委員会に事業補助を行うことにより、ゲーム産業企業の誘致や包括連携企業と連携し、ゲームクリエーターを含むIT人材育成のためのゲーム作成合宿やオンラインによる技術指導を行う。

【主な取組及び成果】
ゲームクリエイターの掘り起こし及び育成を目的とした取組として「ＵＯＺＵゲームハッカソン」「ＵＯＺＵ　ゲームフォーラム」「ＵＯＺＵゲームジャム」等のゲーム開発イベントを８回開催し計298名の参加があり、ゲーム開発希望者の技術力向上につながった。
都市圏ゲーム関連企業を市内へ誘致することを目的とした取り組みとして、都内企業への営業やアニメ・ゲームサミット2022への出展等の企業誘致活動をオンラインで行った。

【今後の取組】
魚津市においてゲーム産業が定着するよう、ゲーム開発や運営に携わることのできる人材の育成やゲーム関連の創業支援・企業誘致に引き続き取り組む。

事業名	企業誘致事業	事業費	3,199千円

【事業概要】
　企業誘致のための営業活動及びサテライトオフィス設置に対する助成を行う。

【主な取組及び成果】
　サテライトオフィスの設置ニーズに素早く対応するため、旧村木小学校内に整備したトライアルオフィス（整備規模　約30㎡×6室）は、サテライトオフィスの設置を検討している企業（３社、212日）へ貸し出しを行った。
　サテライトオフィス設置に興味のある企業情報を得るため、アポイント獲得業務を実施した。（アポイント獲得20社とオンライン面談の実施）
　サテライトオフィス設置を目指す企業との現地見学会を３回（３企業）実施した。

【今後の取組】
　首都圏等からのサテライトオフィス等の企業誘致を想定し、旧村木小学校に整備したトライアルオフィスを活用し、引き続きアポイント業務の実施や国、県が開催するサテライトオフィスマッチングイベントに参加する等、誘致に努め雇用の確保を目指す。

事業名	魚津スマートシティ構築推進事業	事業費	19,261千円

【事業概要】
　まちの事象をデータから把握するための環境を作り、データに基づいた活動を行う個人・企業を増やすことで、雇用拡大と持続的に成長できる企業を創出し、定住・関係人口の創出を図る。

【主な取組及び成果】
　デジタル田園都市国家構想交付金を活用し、データ連携基盤として魚津市IoTプラットフォームを導入した。また有識者の意見をもとに、今後の魚津市におけるスマートシティの在り方を検討するため、「魚津モデルスマートシティ構築推進協議会」を設立した。

【今後の取組】
　データ連携基盤を活用し、民間も巻き込んだ形でデータ連携を拡大していく予定。有識者の意見を聞きながら、データ活用の促進にむけた効果的な施策を検討・実施していきたい。

事業名	電子地域通貨発行事業	事業費	35,903千円

【事業概要】
　地域内での経済循環や地域活動の活性を図るため、キャッシュレス決裁システム”電子地域通貨MiraPay”を導入。
　今後の更なる利便性の向上を目指し、アプリ登録者や参加店舗数を増やすための様々なキャンペーン事業等を実施し、普及促進を図る。

【主な取組及び成果】
　新型コロナウイルス感染症拡大により消費の落ち込んだ市内経済循環の活性化を図るため、電子地域通貨MiraPayを発行した。

【今後の取組】
　電子地域通貨MiraPayについては、他の先進地事例を調査、研究しながら、行政コインの付与やチャージキャンペーン等を実施することにより、市内での利用者や取扱店舗を増加させるとともに市内の経済循環の活性化を図る。

・ミラペイ登録者数　アプリ：7,769件、カード：3,509枚
・登録店舗数　　240店舗
※上記の数字は、R5.3.31時点
・令和４年度総決済額　261,558千円

事業名	若者等雇用促進事業	事業費	248千円

【事業概要】
　女性の働く場（活躍の場）の創出に向けて商工会議所等と連携し、職場で女性が活躍できる領域を増やす機運を醸成する。

【主な取組及び成果】
　魚津市内企業の代表者や人事担当者等を対象とした「働き方改革・女性活躍推進シンポジウム」（基調講演、富山労働局・県女性活躍推進課の制度紹介、有識者によるパネルディスカッション）を開催した。（12/21実施）
93名（会場68名、オンライン25名）参加。

【今後の取組】
　R3、R4と引き続き企業代表者や人事担当者を対象としたシンポジウムを開催し、女性活躍推進の必要性について伝えてきたが、「ロールモデル（キャリア形成において規範となる人物）」が不在であるなど、課題を抱えている企業もあったことから、今後、女性育成塾を実施するなど企業の女性活躍推進の取組みを支援する必要がある。

【基本目標２】にぎわいの空間をつくり、魚津への新しいひとの流れをつくります

令和４年度における主な事業

事業名	経田漁港整備事業	事業費	10,026千円

【事業概要】
　漁港施設・マリーナ施設の整備や機能保全を計画的に実施することで、施設利用者及び交流人口が増加し、漁業と海洋レクリエーションの融合による地域活性化を図る。

【主な取組及び成果】
　経田漁港の機能回復や長寿命化を図るため機能保全計画に基づき保全工事を行っており、令和４年度は航路の補修浚渫（V＝2,225㎥）を行った。
　また、既存の機能保全計画策定から10年が経過したことから、施設の長寿命化と更新コストの平準化・縮減を図るため、施設の健全度を再評価し機能保全計画の見直しを行った。
　その他、老朽化の進むマリーナ施設（浮桟橋、上下架施設等）の整備を進めるため、整備予定の計５施設の設計業務委託を行った。

【今後の取組】
　水産物の生産・流通基盤の機能強化と海洋レクリエーションによる交流人口の拡大を図るため、引き続き機能保全計画に基づいて保全工事を行い、また、老朽化している浮桟橋や上下架施設等について計画的に更新や整備を進める。

事業名	うおづスポーツコミッション事業	事業費	15,036千円

【事業概要】
　本市のスポーツ資源を活用し、スポーツ大会や合宿、イベントを観光、産業等の地域資源と結び付け、市民との交流や関係人口の増加等による地域活性化を目指すため、官民が一体となった取組を推進する。

【主な取組及び成果】
　パナソニックスポーツとの連携によるリーグワン（ラグビー）やＶ１リーグ（バレーボール）の試合での出向宣伝活動、選手や指導者を招いてのスポーツ教室を行った。また、魚津の特産食材を使用したオリジナルスポーツ弁当「ミラスポ弁」を開発した。

【今後の取組】
　うおづスポーツコミッション組織に参画する団体が連携し、スポーツを通じた地域活性化を目指した事業に取り組む。

事業名	定住促進事業	事業費	13,081千円

【事業概要】
　魚津市の魅力を様々な媒体を活用しながら県内外に向けて情報発信を行い、移住者や移住希望者に対するサポート体制を充実させ、魚津市の人口増加を目指す。

【主な取組及び成果】
　移住コンシェルジュを設置し、東京で開催された移住フェア、オンライン移住セミナー等に参加するなど、移住検討者からの相談に対応した。
　黒部市と合同開催で「雪道ドライビング講習会」等の移住者交流会を開催した。
　魚津の住みよさをHPやSNSでの情報発信しており、若者のＵターン促進を図るため、市内高校に通学する学生11名により定住PR動画を制作し、魚津市公式YouTubeチャンネルにて、動画を掲載した。
　子育て新婚世帯移住助成制度を創設し、市内に移住する子育て新婚世帯に生活支援金として地域通貨Mira Payを交付した。
　・子育て世帯助成　11件　2,200,000円
　・新婚世帯助成　　15件　3,000,000円　計　5,200,000円
　国、県、市で実施する移住支援金交付事業では、首都圏より単身テレワーク移住者１名の転入があり、600,000円を交付した。

【今後の取組】
　若者のＵターン促進を図るため、引き続き市出身の学生向けに就職情報等を送付するとともに、今後、市出身学生等の仕事・進学に対する意向調査を行い、アンケート結果をＵターン施策に反映させる。

事業名	こうのとりプロジェクト婚活支援事業	事業費	1,373千円

【事業概要】
　結婚支援機関「こうのとりマリッジサポート」登録者の結婚支援や市内独身男女の結婚に対する意識向上を図り、結婚、妊娠、出産を経て人口減少の抑制に繋げる。

【主な取組及び成果】
　婚活イベント：３回（96人参加）、独身男女向けスキル・マインドアップセミナー：４回（41名参加）、親向け婚活セミナー１回（23名参加）を実施。
　「こうのとりマリッジサポート制度」（こうのとりサポーターによる登録者男性62人・女性12人のマッチング）を継続して実施した。

【今後の取組】
　こうのとりマリッジサポートの女性会員の増加を目指し、登録会員及びサポーターのスキルアップに努める。

事業名	住宅取得支援事業	事業費	28,000千円

【事業概要】
　子育て新婚世帯の定住を促進するため、市内での住宅取得に対する支援を行う。

【主な取組及び成果】
　子育て新婚世帯（56世帯）の住宅取得者に対し、住宅取得に要する費用の一部の支援を行った。これらの補助対象者の内、市外からの転入は、14世帯である。

【今後の取組】
　子育て世帯や新婚世帯の魚津市内での住宅取得への支援を行い、移住定住を促進するため、支援制度の周知に努める。

事業名	食泊連携事業	事業費	5,045千円

【事業概要】
　魚津駅前を中心とした飲食店と宿泊施設の連携による、食の魅力のPRと観光客の誘客を行う。

【主な取組及び成果】
　観光客が求めるニーズを探るため、来訪者に対するニーズ調査を実施し、年齢、出身エリア別の旅行先に求める内容や魚津の認知度、旅行中の食に関するニーズ等について調査・分析を行った。
　また、紅ズワイガニの需要把握、流通確保に関する実証実験として「魚津蟹騒動」を実施した。

【今後の取組】
　魚津駅前の飲食店、宿泊施設と連携し、紅ズワイガニを軸とした「食」をテーマに商品造成・プロモーションを実施し、魚津市の観光閑散期であり海産物の旬の時期でもある12月～2月の観光誘客を促進する。

事業名	観光物産宣伝事業	事業費	27,606千円

【事業概要】
　市内イベント・観光資源のPR、イベント開催団体・観光関係団体の支援を行う。

【主な取組及び成果】
　市制70周年記念事業として「じゃんとこい魚津まつり」や「よっしゃこい!!ＣＨＯＵＲＯＫＵまつり」の内容を充実させ、魚津の朝市、イルミラージュUOZU、えきてん等のイベント支援や観光ボランティアなどの団体に支援を行った。
　また、新聞等マスコミを活用した観光宣伝を行うとともに、コロナ禍の中、県内をはじめとして、観光交流都市の長野県飯山市や山・鉾・屋台行事推進ネットワークの岐阜県大垣市等近隣県を中心に出向宣伝を行い、観光ＰＲに務めた。

【今後の取組】
　引き続き各種イベント等への支援を行うとともに、メディア等の利用や出向宣伝を通じて、イベント・観光資源のＰＲを図る。

事業名	インバウンド推進事業	事業費	2,300千円

【事業概要】
　訪日外国人旅行者の誘客のため、台湾をはじめとする海外への広告宣伝、情報発信を行う。

【主な取組及び成果】
　魚津市インバウンド推進実行委員会へ補助金を交付し、受入体制整備をはじめ、広告配信による情報発信や台湾現地での商談・プロモーションを実施した。また、インバウンド需要回復を見据えて、訪日意欲のある国・地域の観光情勢等の情報収集に関する講演会を行った。

【今後の取組】
　引き続き受入体制整備、情報発信を行うとともに、新型コロナ回復後の観光需要の更なる取込みを目的に、台湾との交流・提携の可能性のある自治体の調査及び現地視察訪問を実施し、インバウンド誘客と国際交流の深化を図る。

事業名	受入体制整備事業	事業費	25,521千円

【事業概要】
　観光振興計画策定・進行管理、宿泊割引、観光施設の維持管理、観光協会・観光案内所の運営支援などを行う。
　また、観光推進体制の強化を推進するとともに、既存資源の高付加価値化を図り、域内消費の拡大を目指す。

【主な取組及び成果】
　観光振興計画推進協議会を開催し、令和４年３月に策定した第３次魚津市観光振興計画の進捗状況の点検、観光振興方策について検討を行った。
　魚津市観光協会・魚津駅前観光案内所・おおまち観光案内所の支援、レンタサイクルみらくるの貸出等を行い、受入体制の充実を図った。観光の拠点となる魚津駅前観光案内所について、利便性向上及び機能充実を図るため、あいの風とやま鉄道魚津駅舎内に新たに整備し、令和５年３月28日に移転・リニューアルオープンを行った。
　コロナ禍による落ち込んだ国内旅行需要を喚起し、市内観光事業者への支援につなげるため、市内の宿泊施設や飲食店・物販施設等で利用できる電子地域通貨MiraPay（ミラペイ）を県内外の旅行者に販売し、域内消費の拡大を図った。

【今後の取組】
　引き続き、観光振興計画推進協議会において、計画の進捗状況や方策について検討を行い、関係機関とともに「観光で稼げる」地域づくりを目指す。また、市内の観光施設・宿泊施設の高付加価値を図る改修等に対し、国とともに支援を行うことで、市内の魅力・収益力の向上を高める。
　魚津駅観光案内所に来訪者の多い週末に専門観光コンシェルジュを配置し、安定的な運営業務と案内機能の強化を図る。

事業名	広域観光連携事業	事業費	6,565千円

【事業概要】
　近隣自治体等と連携した観光PRの実施と、圏域内の受入体制の整備を行う。（「立山黒部」世界ブランド化推進事業、多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進計画）

【主な取組及び成果】
　新川地域観光開発協議会（事務局：魚津市商工観光課）において、ツーリズムEXPOジャパン2022（会場：東京）における商談・観光宣伝の他、北陸新幹線敦賀延伸を見据えた福井県内のショッピングセンターでの観光PRやアンケート調査、特産品販売を実施し、新川地域の魅力を発信した。
　にいかわ観光圏協議会（事務局：黒部市商工観光課）に参加し、海外現地旅行会社とのオンライン商談会やシンガポールからインフルエンサーを招致し、プロモーションを行った他、にいかわ地域の周遊滞在につながる朝～夕までの体験プランの造成、販売整備、SNS等を通じたプロモーションを実施した。
　富山湾岸サイクリング2022のメイン会場として、ゴール後のおもてなしブースを設営し、参加者のおもてなしや市内の飲食店のPRに努めた。
　観光交流都市の飯山市と連携し、相互の広報誌を活用したイベント情報の発信など観光PRに努めた。

【今後の取組】
　新川地域観光開発協議会及びにいかわ観光圏の役割を明確にし、効果的な連携体制のもと総合観光イベントの出展や広域周遊観光の促進に努める。
　インバウンド推進事業では、広域的に取り組んでいく必要があり、にいかわ観光圏協議会を中心に、台湾等へのセールスコール等や情報発信に努め、新型コロナ回復後の海外旅行者の誘客を図る。
　関係人口の拡大を図るためにも、国内外を問わず交流都市等との連携強化に努める。

事業名	自然と人と食・文化、多様な魅力を融合した 『地域で稼ぐ』新観光ビジョン推進事業	事業費	10,212千円

【事業概要】
　魚津市の自然・食・文化の魅力を活かして、本市でしか体験できない体験プログラムや旅行商品の企画開発を行うとともに、“観光地として選ばれる”地域づくりを進める。
　魚津市が一体となった戦略的な観光推進体制を構築することで、魚津ファンの獲得等による持続可能な観光地経営を図り、新しいひとの流れによる地域経済の活性化を目指す。

【主な取組及び成果】
　戦略的な観光推進体制の構築に向けた人材育成・意識醸成を目的として、市内観光関連事業者を対象としたセミナー等を７回、先進地視察を２回実施し、観光地域づくりに関する知見の蓄積を図った。
　サイクルツーリズムに必要な環境整備（レンタルE-Bikeの導入、サイクリングマップの制作、サイクルツーリズム情報発信サイトの制作、サイクルラックの設置）とデジタルスタンプラリーを実施し、観光施設間での周遊と魚津市内での滞在・消費の促進を図った。

【今後の取組】
　専門家による助言を踏まえながら、財源、人員体制、事業の構築等の魚津市版DMO構築に向けて必要な検討を行い、令和6年度の法人設立を目指す。
　動画配信によるサイクルツーリズムの発信と魚津市ならではの体験コンテンツの開発を行い、旅行者向けの商品・サービスの充実を図る。
　2024年の北陸新幹線敦賀延伸を契機として開催される北陸DCに併せて、富山県と連携した情報発信、商談会を実施し、開発した商品・サービスの販売促進を図る。

事業名	まちなか公園魅力向上事業	事業費	7,285千円

【事業概要】
　公園毎の将来像や取組み方針を定めたプランを作成するため、ワークショップの開催や利活用実証実験を行う。

【主な取組及び成果】
　道下地区の本新１号公園、北鬼江１号公園及び北鬼江２号公園の３公園について、地域住民等とワークショップを行い、公園毎のパークマネジメントプランを作成した。

【今後の取組】
　特色ある公園づくりに向け、パークマネジメント基本方針に基づき、公園毎のパークマネジメントプランの策定と公園の再整備を進める。

事業名	公園整備事業	事業費	50,160千円

【事業概要】
　安全で安心して利用できる公園を維持するため、施設の修繕及び更新工事を実施する。

【主な取組及び成果】
　ミラージュプールのプールサイドシートの更新工事を行った。

【今後の取組】
　施設の老朽化対策として、公園施設長寿命化計画に基づき、計画的に更新工事等を実施する。

事業名	総合公園賑わい創出事業	事業費	65,045千円

【事業概要】
　みらパークの賑わいが増加することを目的に、子育て世代から高齢者までの広い世代を対象としたイベントの定期開催や子どもの遊び場などの環境整備を行う。

【主な取組及び成果】
　老朽化施設を指定管理者と協議のうえ、５箇所の修繕・改修工事を行った。
　賑わい創出パートナー事業者が市制70周年記念イベント及び日常・特別イベントを71回開催し、約8,800人の参加があった。
　ミラージュランドの芝生広場に「ふわふわドーム」を整備した。

【今後の取組】
　魚津総合公園の賑わいを図るため、指定管理者や民間事業者と連携し、利用者の増加に向けた取組を進める。

事業名	魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり事業	事業費	32,033千円

【事業概要】
　賑わいある魅力的なまちづくりを推進するため、都市施設の整備等を実施する。

【主な取組及び成果】
　令和３年度に基本計画となる空間デザイン指針を取りまとめ、令和４年度中に駅東広場などの個別のデザイン計画と公共サインの計画を策定した。

【今後の取組】
　令和５年度は、駅東広場及び駅地下道線の基本設計や駅南駐輪場、柿の木割の照明整備などに着手する。
　令和６年度は、駅東広場の詳細設計のほか、駅地下道線や柿の木割の周辺の整備などに着手する。

事業名	居住誘導促進事業	事業費	25,960千円

【事業概要】
　まちなかへの居住を促進するため、居住誘導区域内での住宅取得に対する支援や居住誘導区域内での住宅団地造成に対する支援を行う。

【主な取組及び成果】
　居住誘導区域内での住宅取得者（17世帯）に対し、住宅取得に要する費用の一部の支援を行った。
　また、居住誘導区域内で住宅団地の造成を行った２事業者に対して支援を行った。

【今後の取組】
　まちなかの人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるように、居住の誘導を図るための支援制度の周知に努める。

事業名	耐震改修促進事業	事業費	3,000千円

【事業概要】
　木造住宅の耐震改修を促進するため、魚津市内に存する住宅の所有者が行う木造住宅耐震改修に要する経費を支援する。

【主な取組及び成果】
　木造住宅の耐震改修に要する経費の一部の支援を３件行った。

【今後の取組】
　良好な住環境を維持するため、木造住宅の耐震改修に対する支援制度の周知に努め、住宅の耐震化を促進する。

【基本目標３】安心・安全な暮らしを守り、子どもを地域全体で育てるまちを目指します

令和４年度における主な事業

事業名	ママと子どもが輝くまちづくり事業	事業費	1,800千円

【事業概要】
　市内で多様な働き方をする女性達が、親子参加型のイベントや、起業をめざす女性を対象にセミナー等の支援活動を行い、子どもや女性が暮らしやすい街づくりを目指す。

【主な取組及び成果】
　ママや子ども向けのイベントをフリーランスママを支援する団体に委託し、多様な働き方をするママのコミュニティと子育て世代のネットワーク拡大を目指す。
　市制施行70周年記念事業として女性の活躍の場の創出、小中学生が職業体験ができる「cocomama フラットカーニバル」を開催し、県内外から3,500人の来場があり、賑わい創出と女性が住んでみたいと思うまちづくりに取り組んだ。
　また、定例事業の一環として若者や親子の交流や情報交換の場づくりとして以下のイベントを実施した。
・市内の若者が魚津市の少子化について語る「赤ちゃん会議」30人参加
・親子向け自然体験「五感を育てるシリーズ」２回実施・23家族・102人参加
・「女性のマネー講座」７人参加
　令和４年度は、関係人口創出の取組として、「ファミリーワーケーション」を実施し、７家族・19人の参加があり、自然体験をしてもらいながら、川原保育園において保育園留学を実践し、都市部在住の家族に市の子育て環境の良さを体験していただいた。

【今後の取組】
　まちづくりに精力的に活動している方々と連携し、親子が楽しめるイベントを実施し、賑わいを創出し、住み続けたいと思えるようなまちづくりに努める。

事業名	防災情報配信事業	事業費	11,460千円

【事業概要】
　気象警報や防災に関する緊急情報等について、防災行政無線やメール配信、Yahoo!防災アプリ、CATV、SNS等により、正確・迅速に伝達できる体制を整備する。

【主な取組及び成果】
　魚津市防災行政無線（同報系）の操作卓や屋外拡声子局、移動系車載器、J-アラート装置等の保守点検を実施し、災害等に備えた動作確認を行った。
　魚津市緊急情報配信サービス（防災情報メール）の更新・拡充を実施し、Yahoo!防災速報アプリやＳＮＳとの自動連携、特別警報等の配信情報追加を行うなど、体制の強化を図った。

【今後の取組】
　防災行政無線や緊急情報配信サービス（防災情報メール）等の維持管理を実施し、緊急情報や防災情報の配信に支障ないよう体制の整備に努める。

事業名	交通安全施設維持整備事業	事業費	7,434千円

【事業概要】
　通学路や生活道路における安全・安心を確保するため、交通安全施設の新設・維持管理を行う。

【主な取組及び成果】
　市民生活や通学路等の道路において、交通事故防止のための交通安全施設（カーブミラー、ガードレール、区画線等）の設置や既存施設の修繕を迅速、適切に行った。

【今後の取組】
　通学路合同安全点検を毎年実施し、通学路の安全対策を重点的に行うとともに、地域住民からの要望等に基づき生活道路等の安全対策を進める。

事業名	防犯カメラ維持事業	事業費	609千円

【事業概要】
　市内に設置してある防犯カメラに不具合が生じていることから、点検修理を行い、歩行者等の安全・安心の確保につなげる。

【主な取組及び成果】
　令和３年度に実施した防犯カメラの一斉点検の結果、不具合が発見された防犯カメラについて、順次修繕を行っている。令和４年度は、魚津駅周辺や西魚津駅周辺に設置した防犯カメラの修繕を行った。

【今後の取組】
　防犯カメラが正常に作動しているか定期的に点検を行うとともに、不具合のある防犯カメラを適切に修繕する。

事業名	妊産婦健康診査事業	事業費	23,731千円

【事業概要】
　安心して生み育てられるよう、妊娠中・出産後における健康診査事業を推進する。

【主な取組及び成果】
　すべての妊婦に対し、妊婦健診14回、産婦健診2回を実施した。
　多胎妊婦の場合はさらに健診機会を設けた。
　（R4実績：妊婦健診　延べ受診者数2,557人、産婦健診　延べ420人）

【今後の取組】
　現在の取り組みを引き続き行う。

事業名	子ども相談事業	事業費	3,570千円

【事業概要】
　家庭児童相談員を配置し、児童の養育等家庭児童福祉に関する相談、指導援助業務を行う。また。Ｒ４年４月に子ども家庭総合支援拠点を整備した。

【主な取組及び成果】
　育児不安や子育て、就学等に関する総合相談窓口をこども課に設置。必要に応じて関係課や児童相談所等と連携しながら、様々な相談に対応し、支援を行った。相談件数のべ310件。

【今後の取組】
　妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援と虐待防止対策をより一層着実に実施し、様々な家庭環境に合わせた困りごとに対応した支援ができるよう関係者が連携できる体制を整備する。（こども家庭センターの設置の検討の実施）

事業名	子育て支援コーディネーター設置事業	事業費	4,590千円

【事業概要】
　コーディネーターを配置し、子育て家庭の個別ニーズを把握し、教育・保育施設及び地域子育て支援事業等の利用にあたっての情報収集・提供、相談、助言等を行う。

【主な取組及び成果】
　子育て支援センターや保育所、幼稚園での育児サロン等で子育てに関する相談に対応する他、市内保育所等で気になるお子さんの相談支援を行った。また、子育て世代包括支援センターの職員との連携を図り、情報の共有など多角的な支援に努めた。

【今後の取組】
　今後とも相談体制の充実に努める。

事業名	子育て世代包括支援センター事業	事業費	8,811千円

【事業概要】
　専任の助産師・看護師を配置することで、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談支援の充実を図る。

【主な取組及び成果】
　助産師等の専任職員を配置し、切れ目のない相談対応を実施した。
　子育て支援コーディネーターとの連携を図り、情報の共有など多角的な支援に努めた。（R4実績：相談件数　1,604件、子育て支援コーディネーターとの情報連携会議12回）

【今後の取組】
　母子手帳アプリを使った子育て情報の提供、予防接種等の成長に応じた記録の管理に併せて、オンライン相談など、きめ細やかな相談体制の充実に努める。

事業名	不妊治療費助成事業	事業費	8,103千円

【事業概要】
　不妊治療を受けている夫婦に対し、従来の費用の一部助成に加えて、保険診療に係る自己負担分を助成することで、経済的負担の軽減を図る。

【主な取組及び成果】
　治療の開始時年齢（妻）が43歳未満の夫婦を対象とした、従来の特定不妊治療・男性不妊治療・不育症治療費用の一部助成を継続した。また、新たに令和４年４月からの不妊治療費の保険適用に伴い、不妊治療費（一般・特定・男性）については、保険適用となる治療費の自己負担分等の全額助成を行った。
（R4実績）
　不妊治療費助成　86件（45組）、不育症治療費助成　２件（２人）

【今後の取組】
　保険適用診療にかかる自己負担分等の助成制度を継続する。

事業名	こども・妊産婦医療費助成事業	事業費	123,788千円

【事業概要】
18歳までの児童の医療費助成や妊産婦の指定症状に係る医療費助成を行う。

【主な取組及び成果】
こども医療費については、53,946件：113,835千円助成した（所得制限なし）。
妊産婦医療費については、463件：4,326千円助成した（所得制限なし）。

【今後の取組】
事業実施を継続する。

事業名	子育て短期支援事業（ショートステイ事	事業費	0千円

【事業概要】
保護者の疾病や仕事等の事由により、子どもの養育が一時的に困難となった場合に児童養護施設等で一定期間子どもを預かる事業

【主な取組及び成果】
令和４年度は、実績なし。

【今後の取組】
令和４年度の実績はないが、必要な方が必要な時に利用できるよう、事業を継続する。

事業名	地域子育て活動支援事業	事業費	14,818千円

【事業概要】
　地域の子育て家庭が遊びに来たり相談したりする場を児童センターや認定こども園で提供する。

【主な取組及び成果】
　未就園児とその保護者を対象に遊びの場を提供し、子育て等に関する相談援助を行った。

【今後の取組】
　子育て中の親子の交流を図ることにより、保護者の孤立感や育児不安を解消し、子育てしやすい環境づくりに努める。

事業名	地域子育て支援センター事業	事業費	6,411千円

【事業概要】
　専任の子育てアドバイザーを配置し、子育て中の親子が気軽に集い、子育ての不安・悩みが相談できる環境の充実を図る。

【主な取組及び成果】
　専任の子育てアドバイザーを配置し、気軽に子育て親子が集える広場を開設し、子育ての不安・悩みが相談できる体制をとった。
（R4　延べ利用者数 4,732人）

【今後の取組】
　引き続き、子育て中の親子が気軽に集い、相談できる環境の充実を図る。

事業名	プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業	事業費	6,033千円

【事業概要】
　プログラミング教育を推進するため、プログラミングクラブの実施等を行う。

【主な取組及び成果】
　プログラミング教育推進協議会の設置、開催及びプログラミング教材を用いて小学校のクラブ活動を実施した。また、キッズプログラミングスクールを開催してドローンを操作した。
　紅ズワイガニロボコン大会を開催して、大会優勝者は福井の北陸大会に出場した。

【今後の取組】
　児童の論理的な思考力や問題解決能力の育成には、プログラミング教育が必要である。クラブ活動やキッズプログラミングスクールを通して、児童がスムーズにプログラミングを学習するための支援を行う。

事業名	社会に学ぶ14歳の挑戦事業	事業費	956千円

【事業概要】
　中学２年生が学校外での職業体験を行い、働くことの意義や喜びに触れ、周りに感謝する心を養う。

【主な取組及び成果】
　魚津市「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業推進委員会を組織し、企画・立案等を行った。学校では、生徒の希望・保護者の願いを踏まえて、受入れ事業所等の確保（調査・調整）に当たり、事業所の指導ボランティアと十分な連携の下、７月に原則５日間の職業体験活動を実施した。生徒は、働くことの意義や大変さを感じるとともに、地域の企業や施設が地域社会に大きく貢献していることを知り、地域への理解や感謝する心を深めることができた。

【今後の取組】
　事業実施を継続する。

事業名	橋梁改修事業	事業費	52,446千円

【事業概要】
　橋梁の耐震化・長寿命化整備を行う。

【主な取組及び成果】
　橋梁施設を５年ごとに点検し、その結果を基とした長寿命化計画を立てることで、修繕費の平準化によるコスト縮減や優先度の高い箇所の補修を行い、通行者の安全を図る。

【今後の取組】
　５年サイクルで点検を継続し、長寿命化計画を基に計画的に橋梁補修を行う。

【基本目標４】活力ある地域をつくり、持続可能なふるさと魚津を目指します			
令和４年度における主な事業			
事業名	市民参画・協働推進事業	事業費	379千円

【事業概要】
市民参画・協働推進のため自治基本条例の見直しや市民フォーラムを開催する。

【主な取組及び成果】
うおづまちづくりふれあい講座として、「魚津市の防災対策」等の講座を49回開催し920名が受講した。
市と地域振興会や魚津市社会福祉協議会と協働して、市民を対象としたまちづくりフォーラムを開催し、約80名の参加があった。（富山大学山根教授による基調講演「自治基本条例と持続可能な魚津」と６テーマを設定したワークショップ「みんなで“うおづ”を創ろう！」によるグループワークとグループ発表を実施）
13地区、魚津市社会福祉協議会、魚津市地域おこし協力隊の活動紹介のパネルを市内ショッピングセンター等（３か所）に掲示し、地域活性化の活動を広く市民へ周知した。
まちづくりの基本原則や理念を定める魚津市自治基本条例が時代に即した内容になっているか検証するため、「魚津市市民自治推進会議」を４回開催し、魚津市自治基本条例の逐条解説書の内容について見直しを行った。

【今後の取組】
市民参画協働の推進のため、市民が魚津市自治基本条例をより身近に感じてもらえるよう、条例の見直しに併せ、CATV等を活用し、条例の周知に努めていく。
市民の自由な発想を生かした事業提案を行う「まちづくりチャレンジ事業」を拡充し、地域課題の解決や地域活性化等に取り組む市民のまちづくり活動や、チャレンジする若者のまちづくり活動を応援する補助制度を創設する。

事業名	地域振興事業	事業費	55,572千円

【事業概要】
　地域振興会の自主的なまちづくりやまちづくりを行う団体等の活動に対する支援を行う。

【主な取組及び成果】
　市内13地区の地域振興会が行う、地区資源の活用や地区課題の解決を住民自らの手で行う地域特性事業等に対し、まちづくり交付金として36,643千円を交付した。
　また、市内13地区で公民館を地域づくりの拠点施設として位置づけ、地域振興会の活動を支援するため、その拠点施設である公民館の職員を地域振興事務員に併任し、地域づくり事業の補助・事務を行うことにより住民自治の推進を図った。

【今後の取組】
　令和６年４月に市内13地区全ての公民館がコミュニティセンターへ円滑に移行できるよう、コミュニティセンター化に向けた必要な事項を整理したうえで条例等の改正を行うとともに、コミュニティセンターの運営について地域振興会を中心に地域へ丁寧に説明を行う。
　また、地域振興会の自主的なまちづくりを引き続き支援するため、まちづくり交付金の交付による支援を継続する。

事業名	水と緑の森づくり事業	事業費	6,243千円

【事業概要】
　地域や生活に密着した里山を再生するため、市民協働等による里山林整備を推進する。

【主な取組及び成果】
　里山林の広葉樹林や竹林を、出地区ほか４地区で8.1ha整備を行った。
　地域住民などによる里山林の草刈り作業が、金山谷地区ほか９地区で行われた。
　松くい虫等の森林病害虫による枯損木の拡大を防ぐために、室田地区、湯上地区においてマツ231本、ナラ34本を伐採した。
　スギ人工林の伐採跡地に優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の植樹するために、所有界確認及び協定締結を森林所有者と行った。

【今後の取組】
　里山林を再生を図るため、荒廃した広葉樹林や竹林を整備し、地域住民などの協力のもと草刈り作業を引き続き実施する。松くい虫等の森林病害虫による枯損木が小川寺地区にあることから、計画的に伐採を行う。
　森林資源の循環利用と花粉症対策の一環として、スギ人工林の伐採跡地に、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」が植栽されるよう普及推進に協力する。

事業名	片貝川流域水循環遺産活用事業	事業費	550千円

【事業概要】
　片貝川流域の水循環遺産を活用した観光・環境教育・健康づくり等を推進する。

【主な取組及び成果】
平成23年より一般車両の通行自粛を実施してきた市道南又線の一部について、周辺の環境を保全しつつ本市が誇る地域資源である「魚津の水循環遺産」をこれまで以上に多くの人に触れてもらうことを目的として、期間を限定して試行的に開放した（R5.8.19～10.31）。また、一般車両通行開放に先立ち、企業版ふるさと納税を活用して、洞杉遊歩道整備、市道南又線の道路標識の新規設置等を行ったほか、沌滝周辺の環境整備や地域振興会などによる地域主体のソフト事業を支援した。

【今後の取組】
　魚津の水循環や生物多様性といった、本市特有の魅力的な自然環境の保全に努めるとともにその活用法について引き続き検討する。また、水循環遺産を市内外へPRするとともに、保全意識の高揚を図る。

事業名	ゼロカーボンシティ推進事業	事業費	9,002千円

【事業概要】
　ゼロカーボンシティの実現に向け、温室効果ガス排出量の削減や、再生可能エネルギーの導入等に関する取組を行う。

【主な取組及び成果】
○地球温暖化対策実行計画推進事業
　環境省の補助事業を活用し、太陽光発電、水力発電に関する市内適地での採算性調査を実施するとともに、2050年のゼロカーボンシティ達成に向けた地域内の計画である「魚津市地球温暖化対策実行計画」を策定した。

【今後の取組】
　環境省の採択を受けた「重点対策加速化事業」を活用し、市民や市内民間事業者に対する太陽光パネルや高効率給湯器等の設置を促す補助事業を実施することで、市が一丸となったゼロカーボンシティの達成を目指す。

事業名	行政改革推進事業	事業費	92千円

【事業概要】
　行財政改革に継続的に取り組み、効果的な自治体経営の点検・見直しを行う。

【主な取組及び成果】
　魚津市行財政改革推進協議会を開催し、令和３年度に実施した、行財政改革の取組みの進捗状況について確認した。また、民間出身の委員で構成される魚津市行財政改革推進委員会を開催し、２年前倒しで目標達成した「魚津市財政健全化計画」に代わり新たに策定した「魚津市中期財政計画」の内容や行財政改革の進捗状況を説明するとともに、「魚津市公共施設再編方針」及び「魚津市定員管理計画」の現状と課題を説明し、令和５年度中に見直す計画であることを説明した。

【今後の取組】
　「魚津市公共施設再編方針」については、基本的な考え方（①保有総量の抑制、②施設の有効活用・適正管理、③施設の長寿命化、④民間活力の活用）を踏まえつつ、策定時からの状況の変化に対応するため、令和５年度中に見直しを実施する。
　また、「第６次魚津市定員管理計画」についても、ワークライフバランス、子育て支援、人口減少等に対応していく必要があるため、令和５年度中に見直しを実施する。

事業名	情報政策推進事業	事業費	88,773千円

【事業概要】
　デジタル技術の活用により既存の業務のあり方を見直し、効率的で持続可能な行政運営及びサービス提供の実現を図る。

【主な取組及び成果】
　令和２年度に導入したテレワーク用の端末20台に加え、令和４年度に幹部用タブレットPC端末20台を導入し、テレワークに対応可能な環境整備を進めた。
　また、庁舎内各会議室に大型モニター、WEBカメラ、スピーカー等を導入し、オンライン会議に対応できる環境を整備した。

【今後の取組】
　財務会計の電子決裁化、電子での契約が可能となるシステムを導入することにより、直接の接触を不要として事務が遂行できる環境整備を図る。

事業名	放課後子ども教室推進事業	事業費	1,689千円

【事業概要】
　放課後及び土曜日等に公民館などの施設を活用して、子どもたちの安心・安全な居場所づくりとして、地域住民等の参画により、学習や体験・交流活動の機会を提供する。

【主な取組及び成果】
　放課後における子供たちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、学習やスポーツ・文化活動等地域に根ざした多様な体験活動を提供し、地域全体で子供たちを育む活動を実施した。
　主として、小学校児童を対象に、放課後子ども教室は、３教室を開催。土曜教室は、各地区公民館及びコミュニティセンターで13教室開催した。

【今後の取組】
　引き続き、放課後における子供たちの安全・安心な居場所が確保されるよう、放課後児童クラブとの連携を図りながら、放課後子ども教室、土曜教室の事業を推進する。

事業名	文化財保存活用事業	事業費	7,944千円

【事業概要】
　文化財指定に必要な測量調査や普及啓発事業、市内文化財の保存・活用・継承等にむけた指針、計画の策定や活動等を行う。併せて市内に残された文化財等のデジタルアーカイブ事業を推進する。

【主な取組及び成果】
　米騒動から100年を迎えた年に制作されたドキュメンタリー映画『百年の蔵』の上映会を２会場にて各２回ずつ開催した（７月18日：新川文化ホール、７月23日：市立図書館）。
　指定文化財写真フィルムや『魚津市史』上巻（昭和43年刊行）のデジタル化を行った。
　松倉城跡の魅力などを紹介する山城探訪ツアー（11月20日・19名参加）を行った。
　新型コロナウイルス感染症対策を徹底して８月５日、６日にたてもん祭り開催が決定となり、たてもん協力隊事業も募集規模を縮小して３年ぶりに実施。２日間で延べ108名の応募があったが、２日目は雨天中止となった。
　松倉城郭群のひとつである升方城の本丸・二の丸付近にある石垣の地形測量図を作成した。
　たてもんと全国植樹祭レガシー事業として、たてもんの森の定期的な草刈りや枯れ木の捕植、周辺木の伐採等の環境整備事業と親子を対象にしたふれあいイベント（たてもんオブジェ作りと草刈り）を実施した（５月21日・18名参加）。また、たてもん祭りなどユネスコ無形文化遺産に登録された高岡市、南砺市と県ともに、パネル巡回展（11月15日～12月20日/滑川市・砺波市）や祭り観光ガイド向けの研修会（12月17日/高岡市）、たてもん祭りの記録保存調査（８月５～７日）を実施した。

【今後の取組】
　市民が文化財への関心と理解を深め、地域への愛着や誇りを高め、さらには観光資源としての魅力を向上させ、交流人口の拡大や市内の賑わい創出につなげるために、企画展の開催や文化財の周辺整備、PR事業等を実施し、本市における未来へ引き継ぐ地域遺産（文化財等)の保存、継承、活用に努める。

事業名	成年後見制度利用促進事業	事業費	1,913千円

【事業概要】
　必要な人が成年後見制度を利用できるよう、中核機関（魚津市成年後見支援センター）において制度の広報や相談、人材育成等の利用促進事業を実施する。

【主な取組及び成果】
〇成年後見制度利用支援事業
　身寄りがない等判断能力が減退した高齢者に対して代理権・同意権を持つ成年後見人等を選任する申立に対して支援を行った。（５件）
〇社会福祉一般管理費
　市民後見人養成講座開催業務を市社会福祉協議会に委託し、６人の受講がありました。また、「成年後見セミナー」を２回実施した。（受講者20名、33名）
〇魚津市成年後見支援センター
　魚津市成年後見支援センターに関する周知及び権利擁護ネットワークの構築を図ることを目的に関係機関への訪問を行った。（３件）

【今後の取組】
　成年後見制度の周知・啓発に努めるとともに、市民後見人を養成する取組を強化する。

事業名	健康づくり推進事業	事業費	729千円

【事業概要】
　健康意識の向上を図るため、栄養・運動・健診の分野において普及啓発を進める。

【主な取組及び成果】
　地区健康講座や生活習慣病予防を中心とした健康づくりイベント教室を計３回開催し、合計94人の参加がありました。また、食生活改善推進員の養成と育成に努めた。
　健康づくりの啓発として、昨年に引き続きミラたん健康ポイント事業を実施し、参加者は775人だった。
　「健康づくり推進プロジェクト健康うおづプラス１（ワン）」により、“食”“運動”“健診”を柱とした取り組みを強化した。また、市ホームページに「うおづ健康情報Navi！」を開設し、市医師会・富山労災病院と連携し、健康情報の提供を行った。

【今後の取組】
　生活習慣病予防として、高血圧や糖尿病の発症予防と重症化予防対策に取り組みむ。また、魚津市医師会や富山労災病院、関係機関と連携を図りながら、各種教室や相談、訪問指導等を実施する。

事業名	保健・介護予防の一体的実施事業	事業費	2,436千円

【事業概要】
　生涯を通じた健康づくりの普及のために、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に推進する。

【主な取組及び成果】
　ハイリスクアプローチとして、低栄養予防教室（22人）、服薬訪問指導（５人）、生活習慣病等の重症化予防（18人）、健康状態が不明な高齢者等の状態把握（36人）を実施した。
　ポピュレーションアプローチとして、通いの場におけるフレイル予防の健康教育を延690人に実施した。

【今後の取組】
　高齢者の生活機能の維持と健康づくりの意識高揚を図り、住民が生涯を通じて生き生きと生活できることを目指し、関係機関や関係課と充分に連携を図りながら、国保保健事業、後期高齢者保健事業及び介護予防事業を一体的に実施する。

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	「みらい」へつなぐ持続可能な富山型グローカル交通ネットワーク形成事業
事業期間	Ｒ元年度～Ｒ５年度

※「富山県地域交通活性化推進会議」等で事業結果の検証を行う

【事業費】※魚津市負担分　　（千円）

年度	R元	R2	R3	R4	期間計
事業費	347	281	292	298	1,218
うち交付金	174	140	146	149	609

【事業概要】

●地域公共交通ネットワークの確保・充実
●県内外との広域交通ネットワークの確保・充実
●富山きときと空港の機能充実

○令和４年度魚津市の事業実施内容
　とやまロケーションシステム維持管理委託業務　297,528円

【ＫＰＩ】　　※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R元	R2	R3	R4	R5
鉄軌道・バスの利用率（県民１人当たりの年間利用回数）（回）	目標値	―	46.50	46.55	46.55	46.55	46.55
	実績値	46.00	45.50	34.30	35.90	36.45	
観光客の県内交通機関の満足度（%）	目標値	―	53.80	52.80	52.80	52.80	52.80
	実績値	50.80	45.20	49.40	52.70	54.70	
農林漁業等体験者数（県内における棚田オーナー、観光農園、地引網等の体験活動に参加した述べ人数）（人）	目標値	―	70,073	70,073	70,074	70,074	70,074
	実績値	68,199	70,005	20,850	30,816	32,691	
富山空港国内・国際路線（チャーター便含む）の利用者数（人）	目標値	―	576,730	577,785	577,785	577,785	577,785
	実績値	573,120	545,233	67,136	100,050	104,715	

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	「立山黒部」世界ブランド化推進事業
事業期間	Ｒ２年度～Ｒ６年度

※県「官民及び外部有識者からなる事業検証会議」等で事業結果の検証を行う

【事業費】※魚津市負担分　　（千円）

年度	R2	R3	R4	期間計
事業費	1,000	1,000	1,000	3,000
うち交付金	500	500	500	1,500

【事業概要】

●「立山黒部」の世界ブランド化に向けたプロジェクトの推進
　「立山黒部」を世界水準の「体験型・滞在型」の山岳観光地とし、「立山黒部」を核とした本県の観光ブランドのさらなる醸成・発展を図る。官民が連携して「立山黒部」の世界ブランド化に向けて取組む。
●「立山黒部」の世界ブランド化のための山岳観光地としての環境整備
　国内外からの観光客、登山者等に安全に楽しんでもらうため、登山道や遊歩道の整備、安全登山対策、利用者へのガイドの充実、ライチョウ保護等に取り組み、観光振興と環境保全が調和のための環境を整備（オーバーツーリズムへの対策）する。

○令和４年度魚津市の事業実施内容
　（一社）富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会負担金　2,900千円(うち交付金対象事業分　1,000千円)

【ＫＰＩ】　　※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R2	R3	R4	R5	R6
立山黒部アルペンルートの観光入込数（人）	目標値	－	906,000	929,000	952,000	988,000	1,015,000
	実績値	883,000	230,000	304,000	480,000		
黒部ルートの旅行者数（人）	目標値	－	－	－	－	－	8,000
	実績値	0	－	－	－		
オンライン登山届コンパスの利用者数（人）	目標値	－	12,500	13,500	14,500	15,500	16,500
	実績値	10,632	10,308	10,746	12,201		
旅行者の満足度（%）	目標値	－	75.52	76.64	77.76	78.88	80.00
	実績値	74.40	69.20	71.70	72.82		

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	多様な産業・人材の参画による地域全体が潤う「稼げる」観光地づくり推進事業
事業期間	Ｒ３年度～Ｒ５年度

※（公社）とやま観光推進機構「マーケティング戦略委員会」で事業結果の検証を行う

【事業費】※魚津市負担分　　（千円）

年度	R3	R4	期間計
事業費	2,895	3,999	6,894
うち交付金	1,447	1,999	3,446

【事業概要】

●アフターコロナを見据えた「稼げる」観光地づくり
●北陸新幹線の敦賀開業を見据えた戦略的プロモーションの展開
●「日台観光サミット」「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」の開催実績を活かした国際観光交流の推進
●美術館等における魅力の磨き上げと新たな魅力・価値の創造等による誘客促進

○令和４年度魚津市の事業実施内容
　日本版DMO活動事業分担金　763,000円
　新旅行造成市町村タイアップ事業　1,000,000円
　観光資源重点磨き上げ支援重点プロジェクト事業実施分担金　2,235,100円

【ＫＰＩ】　　※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R3	R4	R5
観光消費額単価（宿泊・日帰り）（円／人回）	目標値	－	9,120	9,360	9,600
	実績値	8,880	11,075	11,315	
観光入込客数（実数）（千人）	目標値	－	11,069	11,104	11,134
	実績値	11,039	10,737	10,772	
日本橋とやま館来館者のうち観光交流サロンでのコンシェルジュ対応者数（人）	目標値	－	22,500	30,000	35,000
	実績値	15,000	13,732	21,232	
県立美術館等の年間来館者数（人）	目標値	－	420,000	470,000	570,000
	実績値	400,000	559,457	609,457	

○地方創生関係交付金事業

【県広域事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	開疎な脱炭素コニュニティ構築プロジェクト
事業期間	Ｒ４年度～Ｒ６年度

※県「富山未来創造県民会議」等で事業結果の検証を行う

【事業費】※魚津市負担分　　（千円）

年度	R4	期間計
事業費	32	32
うち交付金	16	16

【事業概要】

●ワンチームとやま脱炭素プロジェクト
●持続可能な社会づくり
●水資源の保全、活用

○令和４年度魚津市の事業実施内容
　「ゼロカーボンシティ富山の実現」を目的に、県と15市町村が一元的に情報発信を行うことを目的に設置したポータルサイトの制作・管理業務委託事業負担金　32,000円

【ＫＰＩ】　　※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R4	R5	R6
エネルギー消費量の2013年度比の削減率（%）	目標値	－	7.8	9.6	11.1
	実績値	6.3	7.8		
県内市町村での地球温暖化対策推進法実行計画（区域施策編）の策定率(%)	目標値	－	40.0	73.3	86.6
	実績値	26.7	26.7		
一般廃棄物（プラスチック廃棄物）循環利用率（%）	目標値	－	26.4	26.8	27.2
	実績値	26.0	26.4		
北東アジア地域の中高生を対象とした、環境保全に取り組む人材を育成する事業の参加人数（人）	目標値	－	919	949	979
	実績値	889	946		

○地方創生関係交付金事業

【単独事業】

交付金種別	地方創生推進交付金
事業名	自然と人と食・文化、多様な魅力を融合した『地域で稼ぐ』新観光ビジョン推進事業
事業期間	Ｒ４年度～Ｒ６年度

【事業費】　（千円）

年度	R4	期間計
事業費	10,212	10,212
うち交付金	5,106	5,106

【事業概要】

●魚津市版地域DMO構築に向けた取組み
●旅行者に「感動」を与える魅力的な商品・サービスづくり

【ＫＰＩ】　※実績値の下線は見込み

KPI		事業開始前	R4	R5	R6
観光消費額（億円）	目標値	－	73.0	77.0	81.0
	実績値	42.0	55.5		
延べ宿泊者数（千人）	目標値	－	295	301	307
	実績値	177	216		
体験プログラム参加者数（人）	目標値	－	644	1,394	2,144
	実績値	144	1,152		
レンタサイクル利用台数（台）	目標値	－	722	1,116	1,510
	実績値	528	1,210		

【主な取組及び成果】

≪Ｒ４年度≫
　魚津市が一体となった戦略的な観光推進体制の構築に向けた準備期間とし、人材育成及び意識醸成を実施した。加えて、富山湾岸サイクリングコースのナショナルサイクルルート指定を契機としたサイクルツーリズム推進に係る受入環境の整備を実施し、推進体制構築後の収益確保に向けたサービスづくりを実施した。
≪検証≫
　令和４年度は、旅行者に対する情報提供が十分でなかったこと、新型コロナウイルス感染拡大により落ち込んだ観光需要が未だ回復していないことなどから、一部で目標未達成となっている。
　継続的な情報発信が必要であることから、サイクルツーリズム動画の制作やホームページと連動した配信の実施などにより、更なる利用促進と収益性の向上を図る。また、情報発信にあたっては、北陸新幹線延伸や黒部宇奈月キャニオンルート開通など県内の主な観光トピックスと連動し、スケールメリットを生かした発信を行うことで、消費単価の高い長期滞在者の誘客を促進する。